

令和 6 年 6 月 21 日現在

機関番号：32633

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K10792

研究課題名（和文）出口を見据えた不眠医療の確立をめざすSDMの臨床実装と普及にむけた検討

研究課題名（英文）Shared decision making for individuals with insomnia.

研究代表者

青木 裕見（AOKI, Yumi）

聖路加国際大学・大学院看護学研究科・准教授

研究者番号：40803630

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、不眠症向けの共同意思決定（SDM）の支援ツールDecision Aid（DA）を作成し、不眠症治療において、本人と一緒に今後の治療方針を決めるSDMの手法を確立することを目的とした。第一に、当事者および医療者を対象としたSDMに対する意識調査をオンラインで実施した。第二に、DAの国際基準IPDASに則って、不眠症治療むけのDAを作成した。作成にあたり、まず試作版を作り、当事者および医療者のレビューを経て、内容を洗練させた。第三に、このDAを活用したSDMの確立・普及のために、医療者を対象に、オンラインでの講習を企画し、開催した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

不眠症に対し、薬物療法だけでなく、非薬物療法（心理社会療法）も有効であることがわかっている一方で、わが国では依然薬物療法に偏重しており、睡眠薬の長期・高容量使用が社会問題になっている現状がある。本研究で作成した本人が主体的に治療を選ぶDAは、この問題の解決の糸口になり得ると考えられた。また、患者中心の意思決定法であるSDMが多領域で推奨される中、実臨床での普及は十分には進んでいない。本研究での取り組みは、不眠症治療において、その普及に貢献できた可能性がある。

研究成果の概要（英文）：This study aims to develop a Decision Aid (DA) to support shared decision-making (SDM) for insomnia and to establish an SDM approach for deciding future treatment plans collaboratively with patients.

First, an online survey was conducted to assess the awareness of SDM among patients and healthcare providers. Second, a DA for insomnia treatment was developed in accordance with international DA standards. The creation process involved developing a prototype, followed by a review and refinement of its content based on feedback from both patients and healthcare providers. Third, to establish and promote the use of SDM utilizing this DA, an online training session was organized and conducted for healthcare providers.

研究分野：精神看護

キーワード：共同意思決定 shared decision making decision aid 意思決定支援 不眠症 睡眠

1. 研究開始当初の背景

不眠症に対し、薬物療法だけでなく、認知行動療法などの心理社会療法も有用であることがわかってきた。しかしながら、わが国では依然、薬物療法に偏重しており、睡眠薬の長期・高容量の使用による有害事象の増加(依存の形成、転倒リスクの増大、認知機能の障害など)が社会問題になっている。

治療の導入にあたって、患者と医療者が一緒に治療を選ぶ共同意思決定(Shared decision making, SDM)が注目されている。さらに、そこでの対話を促進するための支援ツール(Decision Aid, DA)の活用も盛んになってきた。これは、治療の選択肢および、それらの長所・短所に関する情報を盛り込んだ情報資材で、網羅すべき内容を定めた国際基準 International Patient Decision Aid Standard (IPDAS)も設けられている。IPDASは、省略すると有害なバイアスのリスクがあり、掲載必須の6項目「決定を必要とする健康状態(疾患)」「考慮すべき決定(何の意思決定をするのか)」「利用可能な選択肢」「それぞれの選択肢の長所」「それぞれの選択肢の短所」「選択肢の結果として経験すること」および、DAの質を補強する23項目の計44項目で構成されている。診療前に、本人がDAを読んで診療に臨んだり、診療の場面で医療者と話し合ったりする際に活用でき、DAの活用によって、患者のリスク認識や知識の向上、決定にまつわる葛藤の減少といった介入効果があることも明らかになっている。

DAを活用した意思決定支援の報告が増えてきた一方で、わが国の不眠症治療に関しては、DAのようなツールはまだなく、SDMにおける意思決定の支援方法は確立されていない。

2. 研究の目的

本研究は、不眠症向けのSDMの支援ツールであるDAを作成し、不眠症治療において、本人と一緒に今後の治療方針を決めるSDMの手法を確立することを目的とした。

3. 研究の方法

第一に、患者および医療者を対象としたSDMに対する意識調査をオンラインで実施した。

第二に、DAの国際基準IPDASに則って、不眠症治療のDAを作成した。媒体は手に取って使いやすい冊子版(PDF版も可)とし、作成にあたり、まず文献検討を実施し、情報を吟味して試作版を作り、患者および医療者のレビューを経て、内容を洗練させた。完成したDAについて、患者および医療者に提供し、受容性を評価した。医療者には、「使いやすいそうか」「治療導入時の意思決定に役立ちそうか」「時間の節約ができそうか」「害より益をもたらしそうか」など、受容性に関する計15項目への回答を求め、OSA患者には、DAの各セクションにおける情報の提示方法に関する評価に加え、説明の長さ・量・内容についての評価を求めた。

第三に、このDAを活用したSDMの確立・普及のために、医療者を対象に、オンラインでの講習を企画して開催し、講習の参加前後での知識および態度を比較した。

4. 研究成果

第一のオンライン調査では、患者・医療者ともに、SDMの手法を望んでいることが示された一方で、患者は医療者ほどには、意思決定が共同で行われているとは捉えておらず、医療者の意見を考慮して決定されていると捉えていることが示唆された。結果より、こうした意識のギャップを埋めるためにも、SDMにおける対話を促進するためのツールの活用は有用であると考えられた。

第二に開発したDAの受容性評価の結果は、DAは患者・医療者双方に受け入れられ、SDMにおいて活用できるものであると示唆された。

第三に、オンライン講習において、講習会后、参加者の知識や態度は改善し、DA を活用した SDM の手法に関するオンライン講習の有用性が示唆された。

不眠症に対し、薬物療法だけでなく、心理社会療法も有効であることがわかっている一方で、わが国では薬物療法に偏重している現状が依然あるが、本研究で作成した本人が主体的に治療を選ぶ DA は、この問題の解決の糸口になり得ると考えられた。また、患者中心の意思決定法である SDM が多領域で推奨されている一方で、実臨床での普及は依然進んでいない中、本研究での取り組みは、不眠症治療において、その普及に貢献できた可能性がある。

上記の成果を受け、今後、本研究で開発した DA をさらにアクセスしやすいオンライン版へと発展させ、普及をはかっていく予定である。また、ここで培った SDM や DA に関する知識をいかし、睡眠医療における他の疾患についても、本人と話し合いながら一緒に治療を選ぶ SDM の手法の普及をはかるべく、DA を開発中である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計26件（うち査読付論文 10件／うち国際共著 1件／うちオープンアクセス 8件）

1. 著者名 Aoki Yumi, Takaesu Yoshikazu, Baba Hajime, Iga Jun ichi, Hori Hikaru, Inoue Takeshi, Mishima Kazuo, Tajika Aran, Kato Masaki	4. 巻 42
2. 論文標題 Development and acceptability of a decision aid for major depressive disorder considering discontinuation of antidepressant treatment after remission	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 306～314
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/npr2.12269	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Takaesu Yoshikazu, Aoki Yumi, Tomo Yui, Tsuboi Takashi, Ishii Miho, Imamura Yayoi, Tachimori Hisateru, Watanabe Koichiro	4. 巻 13
2. 論文標題 Implementation of a shared decision-making training program for clinicians based on the major depressive disorder guidelines in Japan: A multi-center cluster randomized trial	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 967750
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsyt.2022.967750	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Zhao Junqiang, Jull Janet, Finderup Jeanette, Smith Maureen, Kienlin Simone Maria, Rahn Anne Christin, Dunn Sandra, Aoki Yumi, Brown Leanne, Harvey Gillian, Stacey Dawn	4. 巻 22
2. 論文標題 Understanding how and under what circumstances decision coaching works for people making healthcare decisions: a realist review	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMC Medical Informatics and Decision Making	6. 最初と最後の頁 265
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12911-022-02007-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Aoki Yumi, Yaju Yukari, Utsumi Tomohiro, Sanyaolu Leigh, Storm Marianne, Takaesu Yoshikazu, Watanabe Koichiro, Watanabe Norio, Duncan Edward, Edwards Adrian GK	4. 巻 11
2. 論文標題 Shared decision-making interventions for people with mental health conditions	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cochrane Database of Systematic Reviews	6. 最初と最後の頁 CD007297.pub3
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/14651858.cd007297.pub3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshima Masahiro, Aoki Yumi, Ie Kenya, Katsumoto Eiichi, Tsuru Eichichi, Tsuboi Takashi, Inada Ken, Kise Morito, Watanabe Koichiro, Mishima Kazuo, Takaesu Yoshikazu	4. 巻 19
2. 論文標題 Attitudes and Difficulties Associated with Benzodiazepine Discontinuation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 15990 ~ 15990
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph192315990	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeshima Masahiro, Aoki Yumi, Ie Kenya, Katsumoto Eiichi, Tsuru Eichichi, Tsuboi Takashi, Inada Ken, Kise Morito, Watanabe Koichiro, Mishima Kazuo, Takaesu Yoshikazu	4. 巻 14
2. 論文標題 Physicians' attitudes toward hypnotics for insomnia: A questionnaire-based study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 1071962
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2023.1071962	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoki Yumi, Takeshima Masahiro, Tsuboi Takashi, Katsumoto Eiichi, Udagawa Ken, Inada Ken, Watanabe Koichiro, Mishima Kazuo, Takaesu Yoshikazu	4. 巻 20
2. 論文標題 A Comparison between Perceptions of Psychiatric Outpatients and Psychiatrists Regarding Benzodiazepine Use and Decision Making for Its Discontinuation: A Cross-Sectional Survey in Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 5373 ~ 5373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph20075373	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoki Yumi, Takaesu Yoshikazu, Inada Ken, Yamada Hiroki, Murao Tomohiko, Kikuchi Toshiaki, Takeshima Masahiro, Tani Masayuki, Mishima Kazuo, Otsubo Tempei	4. 巻 14
2. 論文標題 Development and acceptability of a decision aid for anxiety disorder considering discontinuation of benzodiazepine anxiolytic	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2023.1083568	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 青木裕見	4. 巻 41
2. 論文標題 当事者中心の意思決定支援-デシジョン・エイドを活用したデシジョン・コーチング	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 月刊精神科	6. 最初と最後の頁 533-542
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊衛一郎、青木裕見	4. 巻 37
2. 論文標題 【今あらためて「対話」を問う-オープンダイアログ時代の深化と進化-】共同意思決定(Shared Decision Making:SDM)における対話	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 精神科治療学	6. 最初と最後の頁 1095-1098
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木裕見	4. 巻 15
2. 論文標題 不眠症に対する認知行動療法 (CBT-I) 不眠症の治療における shared decision making	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 睡眠医療	6. 最初と最後の頁 463 ~ 469
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aoki Yumi, Tsuboi Takashi, Takaesu Yoshikazu, Watanabe Koichiro, Nakayama Kazuhiro, Kinoshita Yasuhito, Kayama Mami	4. 巻 25
2. 論文標題 Development and field testing of a decision aid to facilitate shared decision making for adults newly diagnosed with attention deficit hyperactivity disorder	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Health Expectations	6. 最初と最後の頁 366 ~ 373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hex.13393	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aoki Yumi, Takaesu Yoshikazu, Suzuki Masahiro, Okajima Isa, Takeshima Masahiro, Shimura Akiyoshi, Utsumi Tomohiro, Kotorii Nozomu, Yamashita Hidehisa, Kuriyama Kenichi, Watanabe Norio, Mishima Kazuo	4. 巻 42
2. 論文標題 Development and acceptability of a decision aid for chronic insomnia considering discontinuation of benzodiazepine hypnotics	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 10~20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12219	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木裕見	4. 巻 24
2. 論文標題 Shared decision making と decision aid の活用	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床精神薬理	6. 最初と最後の頁 891~900
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木裕見	4. 巻 63
2. 論文標題 特集 ビットフォールから学ぶ睡眠薬の適正使用 睡眠薬の継続と中止	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊薬事	6. 最初と最後の頁 1087~1090
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木裕見	4. 巻 52
2. 論文標題 精神科における shared decision making	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 看護研究	6. 最初と最後の頁 85~89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshima M, Otsubo T, Funada D, Murakami M, Usami T, Maeda Y, Yamamoto T, Matsumoto T, Shimane T, Aoki Y, Otowa T, Tani M, Yamanaka G, Sakai Y, Murao T, Inada K, Yamada H, Kikuchi T, Sasaki T, Watanabe N, Mishima K, Takaesu Y	4. 巻 75
2. 論文標題 Does cognitive behavioral therapy for anxiety disorders assist the discontinuation of benzodiazepines among patients with anxiety disorders? A systematic review and meta analysis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 119 ~ 127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.13195	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 青木 裕見, 渡邊 衡一郎	4. 巻 29
2. 論文標題 重度精神疾患を対象とした Shared Decision Makingの研究動向	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本社会精神医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 300 - 313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木 裕見	4. 巻 62
2. 論文標題 意思決定支援ツール decision aid を活用した共同意思決定 (SDM)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 精神医学	6. 最初と最後の頁 1369-1377
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aoki Yumi	4. 巻 17
2. 論文標題 Shared decision making for adults with severe mental illness: A concept analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japan Journal of Nursing Science	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jjns.12365	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aoki Yumi、Tsuboi Takashi、Furuno Takehiko、Watanabe Koichiro、Kayama Mami	4. 巻 20
2. 論文標題 The experiences of receiving a diagnosis of attention deficit hyperactivity disorder during adulthood in Japan: a qualitative study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Psychiatry	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12888-020-02774-y	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshima Masahiro、Utsumi Tomohiro、Aoki Yumi、Wang Zhe、Suzuki Masahiro、Okajima Isa、Watanabe Norio、Watanabe Koichiro、Takaesu Yoshikazu	4. 巻 74
2. 論文標題 Response to 'Efficacy and safety of bright light therapy for bipolar depression'	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 410 ~ 411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.13010	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木 裕見	4. 巻 36
2. 論文標題 うつ病を対象とした shared decision making の実践 - "SDM7日間プログラム" を導入してみえてきたこと	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊精神科	6. 最初と最後の頁 423-430
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshima Masahiro、Utsumi Tomohiro、Aoki Yumi、Wang Zhe、Suzuki Masahiro、Okajima Isa、Watanabe Norio、Watanabe Koichiro、Takaesu Yoshikazu	4. 巻 74
2. 論文標題 Efficacy and safety of bright light therapy for manic and depressive symptoms in patients with bipolar disorder: A systematic review and meta analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 247 ~ 256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12976	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木裕見	4. 巻 63
2. 論文標題 ビットフォールから学ぶ睡眠薬の適正使用 睡眠薬の継続と中止	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊薬事	6. 最初と最後の頁 1087-1090
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木裕見, 高江洲義和, 藤井千代, 渡邊衛一郎	4. 巻 6
2. 論文標題 精神科治療におけるShared Decision Making	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 精神科臨床 Legato	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計20件 (うち招待講演 6件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 -
2. 発表標題 ワークショップ「明日から実践できる睡眠薬・抗不安薬の使い方 / 止め方」
3. 学会等名 第11回日本プライマリ・ケア連合学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 青木 裕見
2. 発表標題 精神科看護における 共同意思決定 - Shared Decision Making
3. 学会等名 第29回日本精神科看護専門学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹島正浩, 青木裕見, 家研也, 勝元榮一, 津留英智, 坪井貴嗣, 稲田健, 喜瀬守人, 渡邊衡一郎, 三島和夫, 高江洲義和
2. 発表標題 ベンゾジアゼピン系受容体作動薬の減薬困難感に関連する要因の検討
3. 学会等名 第44回日本生物学的精神医学会年会/第32回日本臨床神経薬理学会年会/第52回日本神経精神薬理学会年会/第6回日本精神薬学会総会・ 学術集会 4学会合同年会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹島正浩, 青木裕見, 家研也, 勝元榮一, 津留英智, 坪井貴嗣, 稲田健, 喜瀬守人, 渡邊衡一郎, 三島和夫, 高江洲義和
2. 発表標題 睡眠薬の選択に関連する要因の検討: 医師に対するアンケート調査
3. 学会等名 第44回日本生物学的精神医学会年会/第32回日本臨床神経薬理学会年会/第52回日本神経精神薬理学会年会/第6回日本精神薬学会総会・ 学術集会 4学会合同年会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 青木 裕見, 竹島 正浩, 坪井 貴嗣, 勝元 榮一, 宇田川 健, 稲田 健, 渡邊 衡一郎, 三島 和夫, 高江洲 義和
2. 発表標題 ベンゾジアゼピン受容体作動薬の共同意思決定による出口戦略に向けたオンライン調査 - 当事者と精神科医の意識の比較
3. 学会等名 第44回日本生物学的精神医学会年会/第32回日本臨床神経薬理学会年会/第52回日本神経精神薬理学会年会/第6回日本精神薬学会総会・ 学術集会 4学会合同年会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 青木裕見
2. 発表標題 ベンゾジアゼピン受容体作動薬の適正使用・出口戦略におけるDecision Aidの活用: SDMの促進にむけて
3. 学会等名 第44回日本生物学的精神医学会年会/第32回日本臨床神経薬理学会年会/第52回日本神経精神薬理学会年会/第6回日本精神薬学会総会・ 学術集会 4学会合同年会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 青木裕見, 高江洲義和, 松井健太郎, 徳増卓宏, 嶽北佳輝, 金沢徹文, 岸本泰士郎, 谷英明, 樽谷精一郎, 橋本直樹, 三島和夫, 竹内啓善, 稲田健
2. 発表標題 抗精神病薬を「減薬する」・「減薬しない」を共同意思決定で決めるための Decision Aid の 開発
3. 学会等名 第44回日本生物学的精神医学会年会/第32回日本臨床精神神経薬理学会年会/第52回日本神経精神薬理学会年会/第6回日本精神薬学会総会・ 学術集会 4学会合同年会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 青木裕見
2. 発表標題 気分障害当事者の視点から考えるSDM- 意思決定支援ツールDAを活用したSDM
3. 学会等名 第19回日本うつ病学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 青木裕見, 高江洲義和, 鈴木正泰, 岡島義, 竹島正浩, 志村哲祥, 内海智博, 小鳥居望, 山下英尚, 栗山健一, 渡辺範雄, 三島和夫
2. 発表標題 ベンゾジアゼピン系睡眠薬の継続・中止を共同意思決定で決めるための Decision Aid の開発
3. 学会等名 日本睡眠学会第47回定期学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 青木裕見, 高江洲義和, 稲田健, 山田浩樹, 村尾朋彦, 菊地俊暁, 竹島正浩, 谷将之, 三島和夫, 大坪天平
2. 発表標題 ベンゾジアゼピン系抗不安薬の継続・中止を共同意思決定で決めるためのDecision Aidの開発
3. 学会等名 第14回日本不安症学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 青木裕見
2. 発表標題 大人のADHDの治療選択のためのガイド(デシジョンエイド)
3. 学会等名 第26回聖路加看護学会学術大会シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 栗山 加奈代, 青木 裕見
2. 発表標題 わが国の精神科領域における共同意思決定で実践されている支援に関する文献検討 - 看護職の役割に関する考察 -
3. 学会等名 第26回聖路加看護学会学術大会一般演題
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大坂 和可子, 青木 裕見, 米倉 佑貴, 中山和弘
2. 発表標題 ディシジョンエイドを作ってみよう! 作成の基本からQ & Aまで
3. 学会等名 第26回聖路加看護学会学術大会ミニ講座
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 青木裕見
2. 発表標題 精神科SDMにおけるDecision Aidの活用
3. 学会等名 第117回日本精神神経学会学術総会シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 青木 裕見, 高江洲 義和, 堀 輝, 井上 猛, 伊賀 淳一, 馬場 元, 三島 和夫, 田近 亜蘭, 加藤 正樹
2. 発表標題 うつ病の寛解後, 抗うつ薬の継続・中止を本人と一緒に決めるための Decision Aidの開発
3. 学会等名 第18回日本うつ病学会総会/第21回日本認知療法・認知行動療法学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 青木裕見
2. 発表標題 多職種で取り組む shared decision making
3. 学会等名 第40回日本社会精神医学会シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 青木裕見, 渡邊衡一郎
2. 発表標題 重度精神疾患を対象とした shared decision making の研究動向
3. 学会等名 第40回日本社会精神医学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 青木裕見
2. 発表標題 看護師が実践するSDM
3. 学会等名 SDM Forum(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 青木裕見
2. 発表標題 医療における当事者・家族の意思決定支援の実装「精神科におけるshared decision making - その概念と実践、今後の展開について」
3. 学会等名 第40回日本看護科学学会学術集会 シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yumi AOKI
2. 発表標題 Shared decision-making in severe mental illness: a concept analysis and review of the literature
3. 学会等名 International Conference on Communication in Healthcare 2020（国際学会）
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	中山 和弘 (NAKAYAMA Kazuhiro) (50222170)	聖路加国際大学・大学院看護学研究科・教授 (32633)	
研究 分担者	高江洲 義和 (TAKAESU Yoshikazu) (90421015)	琉球大学大学院・精神病態医学講座・准教授 (32610)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------